

# 農林水産業を支える技術開発と普及

## 農業技術センター

農業技術センターでは県民の豊かな生活を支える都市農業の実現をめざして、最先端の農業技術の研究・開発を行っています。

また、農業現場で解決を必要とする課題を的確に把握し、農業経営の改善等に役立つ新しい技術や知識を早期に農業者へ伝達するとともに、県民に開かれたセンターを目指し、積極的に情報を提供しています。

## 研究と開発

県民に新鮮で安全・安心な農産物を安定して提供するための技術開発や、環境と調和した農業を推進するための技術開発に取り組んでいます。



観賞樹ヤボンノキの新品種「八剣枝垂れ」



ニホンナシの新品種「香麗」

- ・ かながわらしいスマート農業の推進や多様な担い手に対応するユニバーサル生産技術の開発に取り組んでいます。
- ・ 地産地消を推進し、かながわの優位性を発揮する、新規性・独自性に着目した特産品の開発に取り組んでいます。
- ・ 農作業の省力化、生産性の向上に向けた技術の開発などに取り組んでいます。



生食・加熱調理どちらでもおいしいトマト新品種「湘南ボモロン」



スマート農業の試験栽培を行う「ICT温室」



「ドローン」を活用した画像解析システムの開発

## 普及と支援

農業者に対し、農業技術支援を軸とした農業経営体の育成を行っています。

- ・ 新規就農者の定着、経営発展を目指す農業者の経営改善等を支援しています。
- ・ 県民の需要やマーケット・インの発想を活かした農畜産物の高付加価値化等の取組を支援しています。



ナス生産者への技術指導



花き生産者への技術指導

- ・ 農業技術の高度化や持続可能な農業生産を支援しています。
- ・ 安全・安心な農畜産物を供給するためのGAP<sup>®</sup>等の取組を支援しています。
- ・ 地域農業を振興するための取組を技術的に支援しています。

※ 農業生産工程管理（Good Agricultural Practice）のことを指し、農産物（食品）の安全を確保して、より良い農業生産を実現する取組

## 畜産技術センター

県内で生産された良質な畜産物を県民に安定的に提供するとともに、都市と調和した畜産業を推進する試験研究を行っています。

また、研究成果及び新技術を生産者に普及させるとともに担い手の育成・確保に関する支援などを行っています。

## 研究と開発

県民に高品質な畜産物を安定的に提供するとともに、都市と調和した畜産業を推進する試験研究を行っています。

- 新鮮で安全・安心な畜産物の安定供給と地産地消の推進に取り組んでいます。
  - 1 地産地消を推進するための技術開発に取り組んでいます。
  - 2 畜産経営の高度化と安定化を促進するための技術開発に取り組んでいます。
- 畜産業の有する多面的機能の発揮と循環型社会への貢献に取り組んでいます。
  - 3 未利用資源を有効活用するための技術開発に取り組んでいます。
  - 4 環境と調和する畜産を推進するための技術開発に取り組んでいます。



県民の求める畜産物の調査と販売戦略の開発



後継牛確保対策のための新技術(OPU<sup>®</sup>)の実証



かながわ鶏の飼養管理技術の確立



生産者ニーズに合った多産系母豚の開発



飼料用トウモロコシ二期作の安定多収栽培技術



効率的な生産と臭気問題に対応可能な畜舎の実証研究

※ 超音波画像をみながら卵巣に針を刺して卵子を採取する方法、経膈採卵（OPUは、Ovum Pick-Upの略）

## 普及と支援

畜産農家に対し、畜産技術支援を軸とした高度技術の普及指導、畜産の担い手の育成及び確保を行っています。

- ・ 経営発展を目指す畜産農家の経営改善等を支援しています。
- ・ 県民の需要に応じた畜産物の高付加価値化等の取組を支援しています。
- ・ 畜産技術の高度化及び持続可能な畜産物生産を支援しています。
- ・ 農場HACCP<sup>®</sup>等の取組により、経営改善を通じて安定化を支援しています。
- ・ かながわらしい地域農業を振興するための取組を技術的に支援しています。

※ 畜産農場でリスク管理を行うことにより、安全で安心な畜産物の生産に結び付ける手法 HACCPは、Hazard Analysis Critical Control Pointの略称



コロナ対策を講じての担い手支援の様子



講師を招いての講習会の様子

## 水産技術センター

水産技術センターでは、「きれいな海」を守り、「新鮮な魚」を提供する水産業の振興を目的として、資源管理型漁業や栽培漁業の推進、水産物の利用加工、海況・漁況情報の活用、水域環境の保全などに関する研究を行っています。

また、漁業者に対して漁業技術及び経営に関する普及・指導業務や担い手の育成・確保に関する支援を行っています。

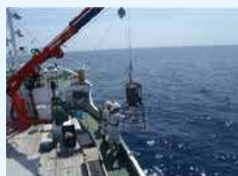
### 研究と開発

県民に新鮮で安全・安心な水産物を安定して提供するための技術開発に取り組んでいます。

- ・漁業の再生を目指して、「水域環境の保全と再生」に取り組んでいます。
- ・資源を増やすことに加え、持続させる管理と利用の手法を目指した「水産資源の持続的利用の促進」に取り組んでいます。
- ・最先端の科学技術の活用や水産物の特性や強みをいかした「県民への魅力的な水産物の供給」に取り組んでいます。



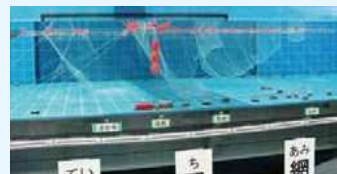
漁業調査指導船江の島丸



海洋観測



キャベツウニの養殖技術開発



回流水槽による漁具模型実験



アユ卵の孵化筒



トラフグの放流種苗



ドローンでの定置網状況調査



溪流環境調査

### 普及と支援

漁業者に対する技術及び知識に関する普及指導や担い手の育成確保の支援を行っています。



漁業者によるハマグリ調査



体験漁業

- ・沿岸漁業の生産性の向上、漁業経営の近代化及び漁業生産技術の改良を図るため、沿岸漁業等の就業者に技術及び知識に関する普及指導を行い、優れた経営感覚をもつ漁業者の育成を支援しています。

## 自然環境保全センター

自然環境保全センターでは、「多様で豊かな自然環境の保全・再生と活用」を長期目標とし、主に丹沢大山自然再生計画、かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画、神奈川県花粉発生源対策10か年計画等の取組みに関連した試験研究・技術開発を推進しています。

### ブナ林の再生にかかる研究開発

水源林の中でも特に貴重な自然生態系である丹沢のブナ林について、ブナ林衰退機構や対策技術に関する研究成果などをとりまとめた「丹沢ブナ林再生指針」を踏まえ、ブナ林再生事業の検証及びブナ林衰退対策にかかる技術開発に取り組んでいます。



大規模ギャップの森林再生調査



大気・気象モニタリング調査



ブナハバチ被害防除試験

### 水源林の機能評価にかかるモニタリング調査

「第3期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」に基づき、水源施策の効果をわかりやすく説明するため、また水源施策を柔軟に推進するために、水源かん養機能評価及び生物多様性機能評価にかかるモニタリング調査に取り組んでいます。



水源かん養機能調査



生物多様性機能調査(植物)



生物多様性機能調査(動物)

### スギ・ヒノキの人工林管理技術の改良

社会問題になっているスギ・ヒノキ花粉症に対し、これまでの研究成果を基に、無花粉ヒノキの苗木生産実用化及び無花粉スギの苗木生産効率化に取り組んでいます。また、雄花着花量調査に基づく花粉飛散量予測も実施しています。(全国初の無花粉ヒノキ「丹沢 森のミライ(愛称)」品種登録申請中・令和3年春初出荷)



無花粉ヒノキの直さし試験



ヒノキの人工交配



無花粉スギ閉鎖系採種圃